

第9回法務局契約監視会議議事概要

開催日	平成23年7月13日（水）
開催場所	法務省大臣官房会計課会議室
出席委員	遠藤 忠宏（公認会計士） 河上 正二（東京大学教授） 安田 聖（一橋大学名誉教授）
審議対象期間	平成22年8月～平成23年3月
審議対象契約	一般競争契約 449件 随意契約 65件
重点審議案件	一般競争契約 103件 随意契約 24件
委員からの主な意見・質問，それに対する回答等	別紙のとおり
意見具申等	① 今後，公共調達の一層の適正化に資するためにも，引き続き不落随意契約，一者応札の解消のための改善策を検討すること。 ② 複数者の入札参加を促し競争原理を機能させるための方策として，十分な公告期間や，履行期間を確保することは有効な方策であるため，契約案件に応じた十分な公告期間や履行期間の確保と併せて予定価格の積算を理論的に行い，入札手続の適正な執行を図ること。
次回の会議開催等	次回の会議の開催は，平成23年11月を予定

質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
<p>1 「不落随意契約，一者応札と入札準備との関係の検証」 平成22年8月～平成23年3月における契約 契約金額 841,533,953円 支出負担行為担当官 東京法務局長 ほか 86件</p> <p>(質問) 予定価格の設定で，不落随契になることがあるため，予定価格の積算に当たっては，十分に検討する必要がある。公告期間や履行期間を長くとした場合は，一者応札や不落随契が少なくなっているようだが，単なる期間の問題だけではなく，一者応札等の解消に向けては，事務担当者の意識の問題や動機付けの問題もあると思う。</p> <p>2 「和紙公図入力作業に係る落札率等の検証」 和紙公図入力作業請負契約 契約金額 113,752,118円 支出負担行為担当官 東京法務局長 ほか 37件</p> <p>(質問) 和紙公図の損耗度によって契約単価のランク付けがされているが，契約単価の平均単価を検証するには，損耗度や，その他の固定費用などを含め，どこで契約したところが全体としてスケールメリットが出るかということを考慮して検証すべきではないか。</p>	<p>(回答) 指摘を踏まえ，今後の参考としたい。</p> <p>(回答) 指摘を踏まえ，引き続き検証を継続していくこととしたい。</p>

3 「さいたま第2法務総合庁舎の建物等
総合管理業務委託契約の検証」

平成22年度さいたま第2法務総合庁舎
建物等総合管理業務委託契約

契約金額 1,543,500円

支出負担行為担当官 さいたま地方法務
局長

(質問)

同種の契約の入札が年によって落札率
が大きく変動している場合は、入札する
ときの条件が変わっていると考えられる
ため、その状況を検証すべきではないか。
また、予定価格の積算に当たっては、理
論的な根拠をもって算定すべきである。

4 「登記情報システム附帯設備等の金属
類売払い契約の検証」

岐阜地方法務局分室登記情報システム
付帯等の金属類売払い契約

契約金額 1,124,980円

支出負担行為担当官 岐阜地方法務局長

(質問)

応札者全員が予定価格以上の金額を入
札したのは、予定価格を安く見積もり過
ぎたためではないか。

(回答)

指摘を踏まえ、今後の参考としたい。

(回答)

予定価格の積算に当たっては、金属
の種類ごとにインターネットにより価
格調査を行っており、直近の市場価格
を反映させているため、予定価格の積
算方法としては妥当であるとする。